

---

---

平成23年  
福岡県経済データファイル

---

---

福岡県商工部



# — CONTENTS —

## 第1章 福岡県の経済動向

1. 概況	2
＜企業部門＞	
2. 生産	3
3. 貿易	4
4. 設備投資	7
5. 企業倒産	8
＜家計部門＞	
6. 個人消費	9
7. 雇用	10
＜その他関係指標＞	
8. 住宅建設	10
9. 公共投資	11
10. 物価	11
11. 県民所得	12

## 第2章 福岡県の商工業

1. 製造業	13
（1）主要産業	13
（2）工場立地	18
（3）研究機関・教育	19
（4）地場産業	20
2. 商業	22
（1）卸売業	22
（2）小売業	23
3. サービス業	25
4. 観光	26

## 付属資料

データ① 事業所数及び従業者数の推移（産業大分類別）（福岡県・全国）	27
データ② 工業における事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移（福岡県・全国）	28
データ③ 工業における事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移（産業中分類別）（福岡県・全国）	29
データ④ 商業における事業所数・従業者数・年間商品販売額の推移（卸売・小売別）（福岡県・全国）	31
データ⑤ 都道府県別企業数	32
データ⑥ 都道府県別常用雇用者・従業者数	33
データ⑦ 福岡県経済の推移	34
マップ① 主要工場	36
マップ② 主要自動車関連事業所	37
マップ③ 主要半導体関連事業所	38
マップ④ 主要食料品・たばこ関連事業所	39

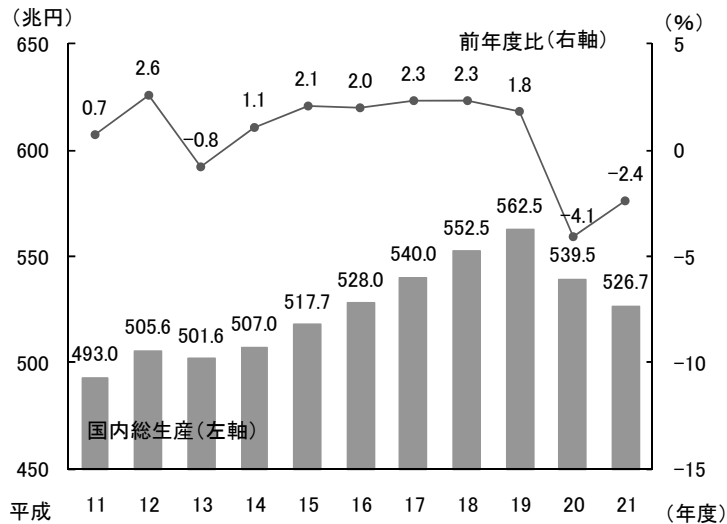
# 第1章 福岡県の経済動向

## 1. 概況

### 2年連続のマイナス成長

平成 21 年度の国内総生産（GDP、実質連鎖）は 526.7 兆円、前年度比（成長率）マイナス 2.4%となり、2年連続してマイナス成長となった。

国内総生産（実質）の推移



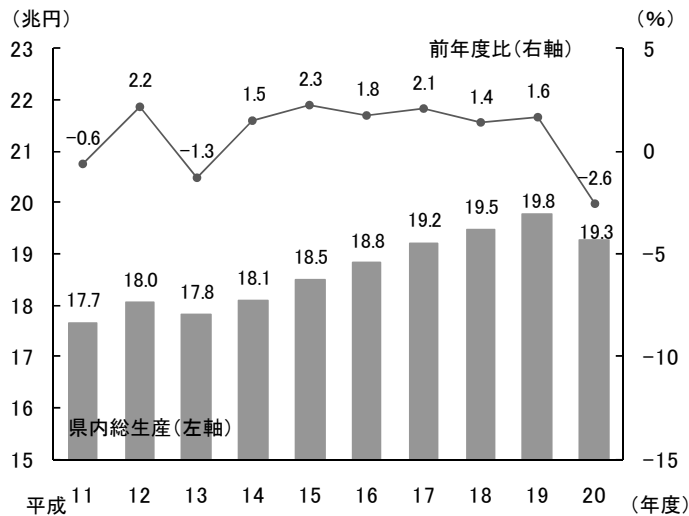
注) 連鎖方式

資料) 内閣府「国民経済計算」

### リーマンショックの影響により県内総生産は大幅に減少

平成 20 年度の福岡県の実質県内総生産は 19 兆 2,813 億円、前年度比（成長率）はマイナス 2.6%となり、全国同様、マイナス成長となった。

県内総生産（実質）の推移



注) 連鎖方式

資料) 福岡県調査統計課「県民経済計算」

## 世界同時不況により製造業比率4年ぶりに低下

平成20年度県内総生産の産業別構成比は、第1次産業が0.9%、第2次産業が19.2%、第3次産業が79.8%となっている。17年度から3年連続で第2次産業の製造業の比率が上昇していたが、世界同時不況の影響により輸出産業中心に生産額が減少し、20年度は1.9%ポイント低下した。代わって低下傾向にあった第3次産業の比率が1.6%ポイント上昇している。

経済活動別県内総生産構成比（実質・%）の推移

	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
第1次産業	0.9	0.9	0.9	1.0	0.9	0.9	0.9	0.8	0.9	0.9
第2次産業	21.4	21.8	20.4	20.2	20.3	20.2	20.5	20.8	21.0	19.2
製造業	14.7	15.0	14.4	14.0	15.2	15.1	15.6	15.8	16.6	14.7
建設業	6.5	6.6	5.8	6.1	4.9	4.9	4.7	4.8	4.4	4.3
第3次産業	77.7	77.2	78.6	78.8	78.8	79.0	78.7	78.4	78.2	79.8
卸売・小売業	20.0	19.1	18.7	18.0	17.8	17.4	17.1	16.7	16.1	15.7
サービス業	21.4	22.4	22.9	23.1	23.4	24.0	23.8	24.2	24.7	26.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

注) 連鎖方式

資料) 福岡県調査統計課「県民経済計算」

## 〈企業部門〉

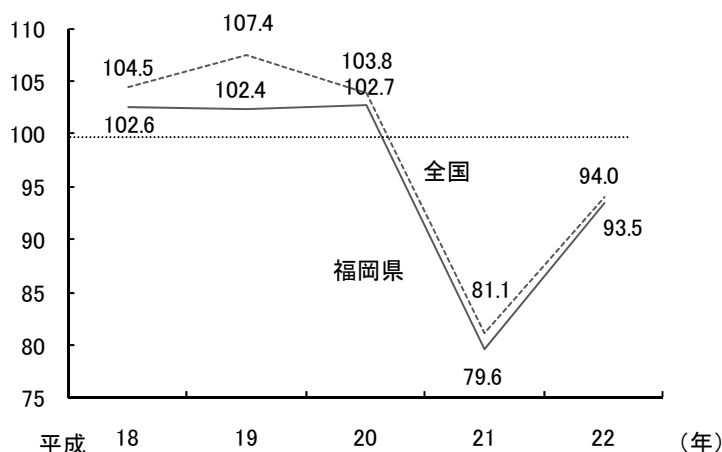
### 2. 生産

#### (1) 全体

## 立ち上がり急な本県の鉱工業生産指数

平成22年の福岡県の鉱工業生産指数（平成17年を100）は93.5、全国は94.0となった。世界同時不況の影響による前年の大幅マイナスから一転、急回復し、18年のピーク比で9割程度の水準にまで戻している。

鉱工業生産指数の推移



注) 平成17年を100とする

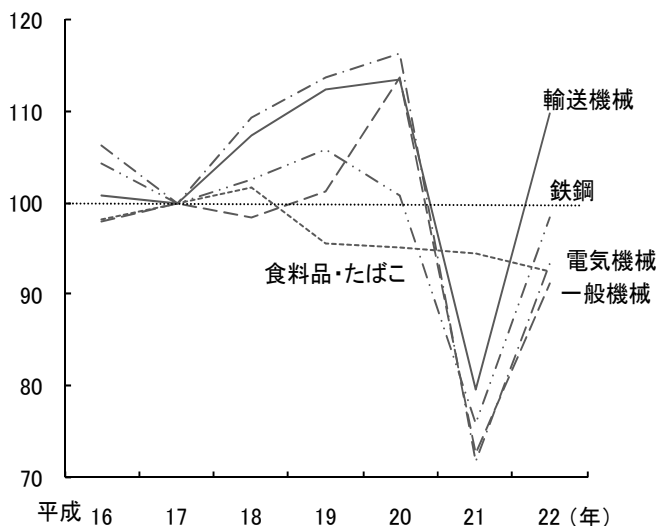
資料) 福岡県調査統計課「福岡県鉱工業指数」、経済産業省「鉱工業指数」

## (2) 主要部門

### 輸送機械、鉄鋼が急回復

平成 22 年の福岡県の鉱工業生産指数（平成 17 年を 100）を業種別にみると、世界同時不況の影響が大きかった輸送機械(指数 109.8)や鉄鋼（98.4）の回復が著しい。

主要業種の鉱工業生産指数の推移



	18年	19年	20年	21年	22年
輸 送 機 械	107.4	112.3	113.4	79.6	109.8
鉄 鋼	102.6	105.9	100.8	76.0	98.4
食 料 品 ・ た ば こ	101.6	95.6	95.1	94.4	92.4
一 般 機 械	98.3	101.2	113.7	72.7	91.1
電 気 機 械	109.3	113.6	116.3	71.8	93.4

注) 平成 17 年を 100 とする

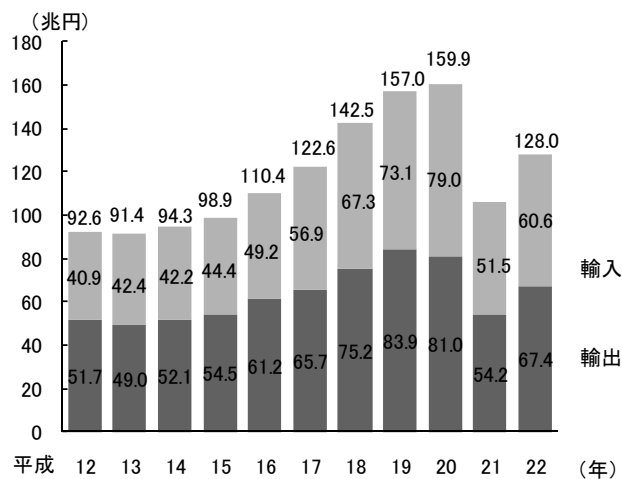
資料) 福岡県調査統計課「福岡県鉱工業指数」

## 3. 貿易

### 世界同時不況の影響脱する本県の貿易額

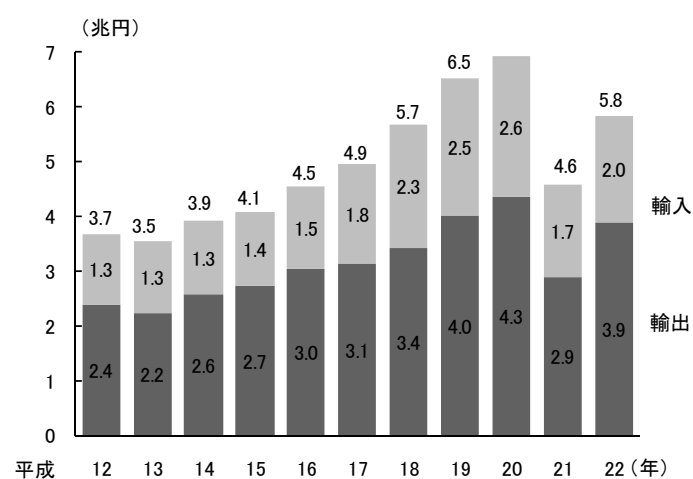
平成 22 年の福岡県の貿易額は、5.8 兆円（輸出額 3.9 兆円・輸入額 2.0 兆円）に拡大した。円高基調であったにも関わらず、とりわけ輸出が急速に回復し、すでにリーマンショック前の 19 年水準まで回復している。

貿易額の推移（全国）



資料) 財務省「貿易統計」

貿易額の推移（福岡県）

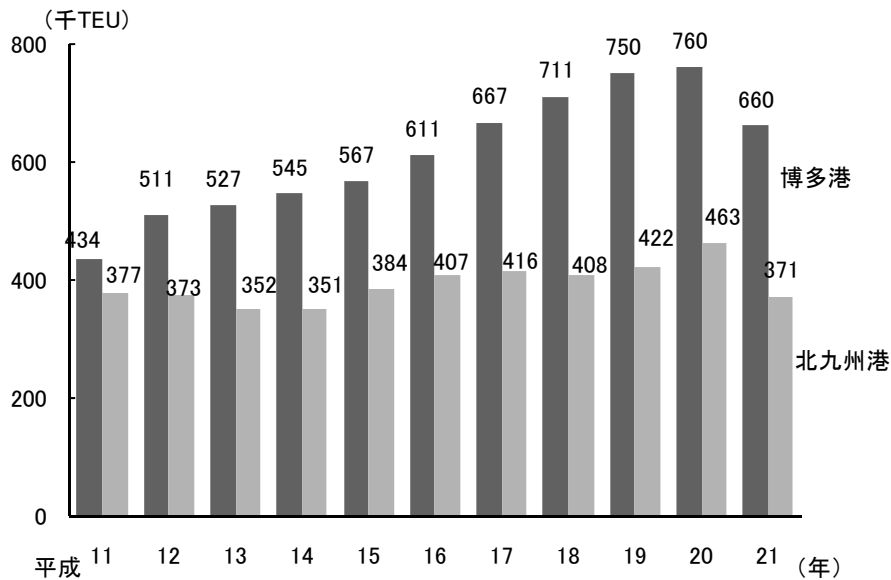


資料) 門司税関「九州経済圏各県別の貿易」

### 世界同時不況により博多港、北九州港の荷動きも減少

平成 21 年の博多港の国際コンテナ取扱量は、66 万 TEU（注）。北九州港は 37.1 万 TEU となり、世界同時不況により両港の荷動きも減少に転じた。

博多港と北九州港の国際コンテナ取扱量の推移

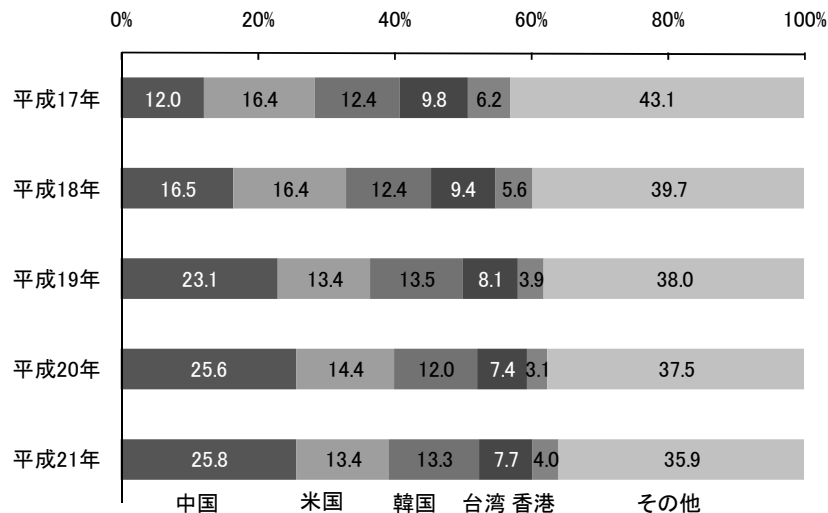


注) TEU は 20 フィートコンテナに換算した数  
資料) 福岡市港湾局 北九州市港湾局

### 21 年の国別輸出比率、韓国向け輸出が米国向けに肉薄

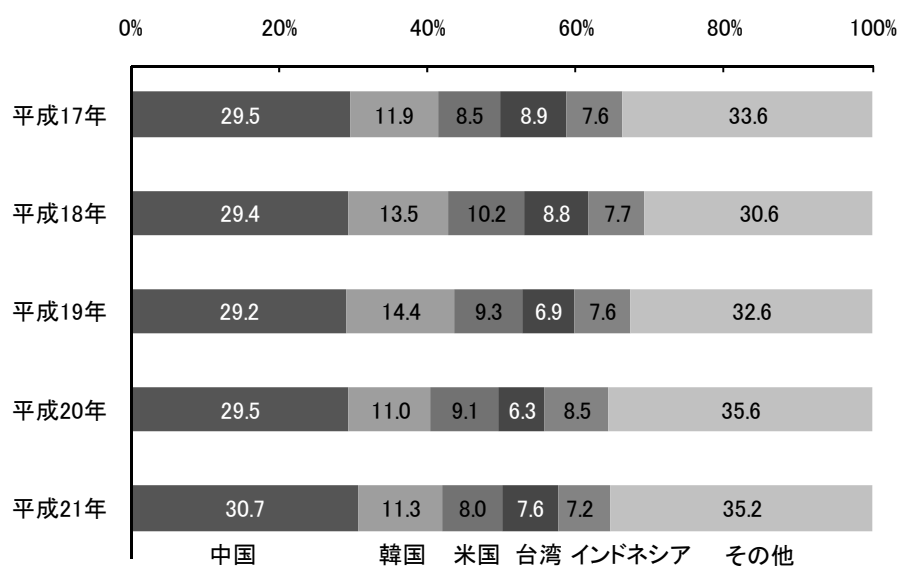
平成 21 年の福岡県の輸出入額は、中国が輸出入ともに最も多いほか、韓国、台湾などアジア地域の占める割合が高い。輸出は中国に次いで米国が多いが、21 年は韓国向けが米国向けとほぼ肩を並べている。

輸出額の国（地域）別シェアの推移



資料) 門司税関「九州経済圏各県別の貿易」

輸入額の国（地域）別シェアの推移

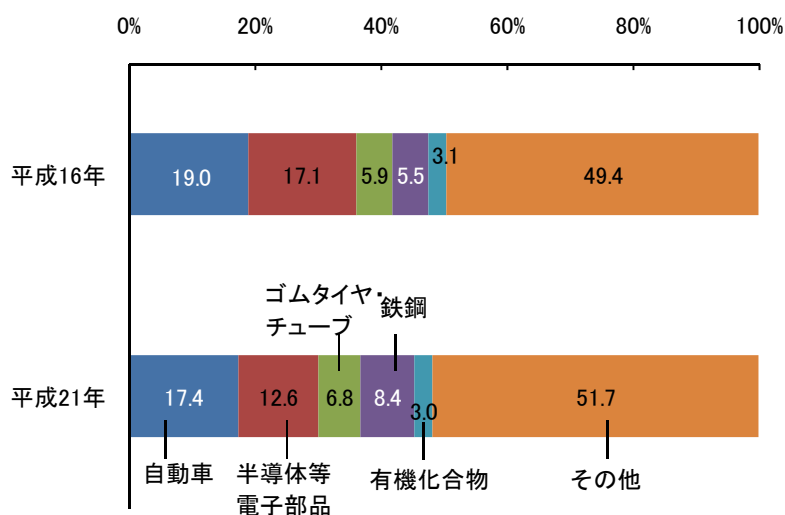


資料) 門司税関「九州経済圏各県別の貿易」

## 世界同時不況で自動車、半導体等電子部品の輸出割合が低下

平成 21 年の福岡県の品目別輸出額は、自動車 が 17.4% と最も多く、半導体等電子部品 も多い。しかし、世界同時不況の影響から両製品の輸出額が大幅に減少したため、5 年前と比較すると、両製品の輸出割合が低下した格好となっている。

輸出額の品目別シェアの推移

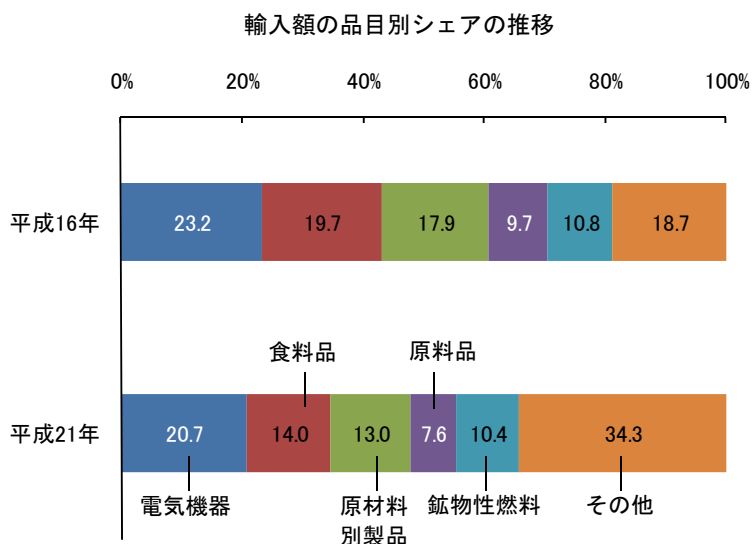


資料) 門司税関「九州経済圏各県別の貿易」



## 変化する輸入構造

平成 21 年の福岡県の品目別輸入額は、電気機器が 20.7%を占め最も多いほか、食料品や鉄鋼、金属製品などの原材料別製品が多くなっている。また原油価格の低下や生産活動の減退により鉱物性燃料などの比率も低下し、「その他」の上昇により目立つ結果となっている。

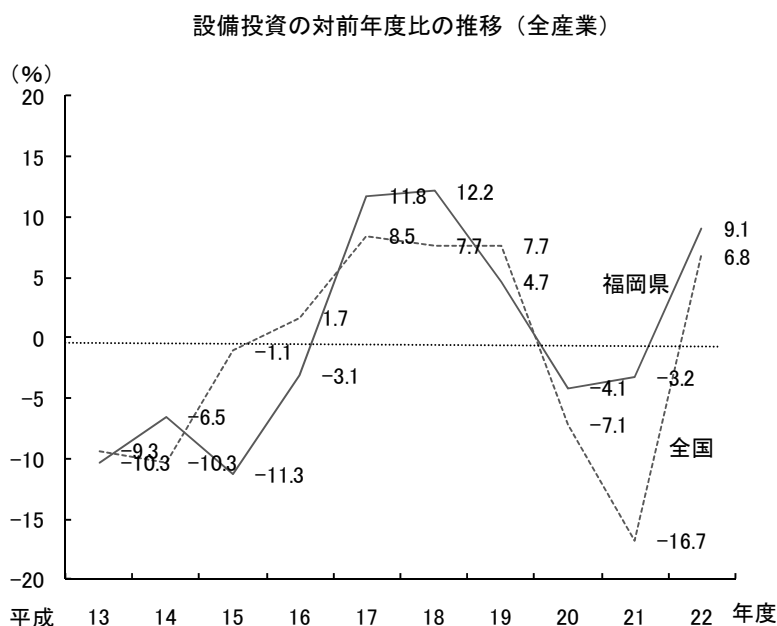


資料) 門司税関「九州経済圏各県別の貿易」

## 4. 設備投資

### 3年ぶりにプラスとなる設備投資

平成 22 年度の福岡県の設備投資計画は、2年連続のマイナスから一転、対前年度比 9.1%増と大幅なプラスとなり、全国の計画額の伸びも上回っている。



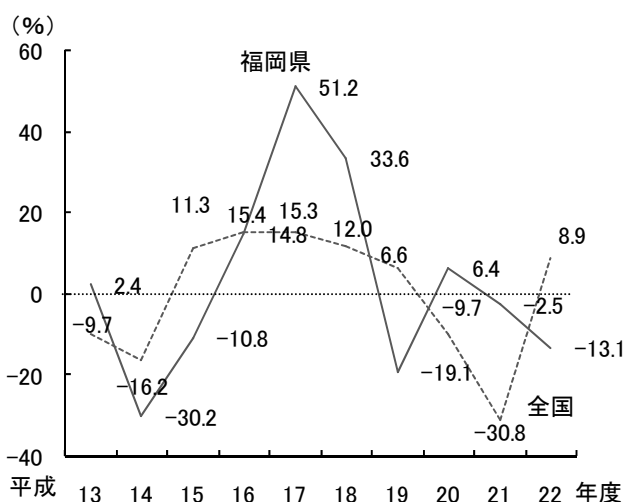
注) 平成 22 年度は計画

資料) 日本政策投資銀行「地域別設備投資計画調査」(平成 22 年 6 月)

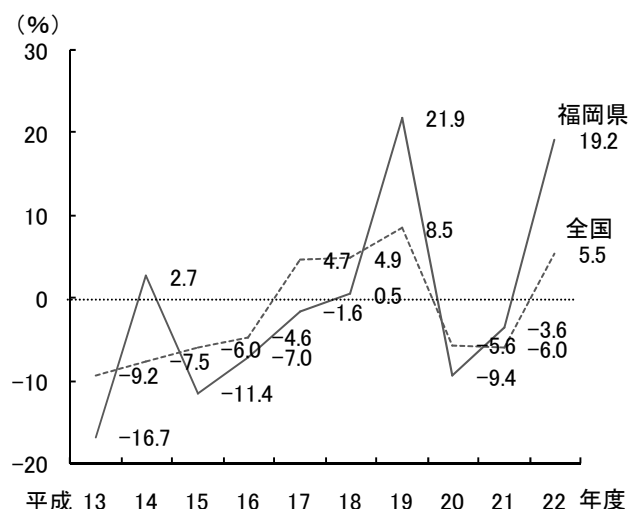
## 非製造業が牽引する企業設備投資

平成22年度の福岡県の設備投資は、製造業においては、前年度の実績が微減に留まった反動により、対前年度比マイナス13.1%となった。一方、非製造業は九州新幹線関連の設備投資により19.2%増となり、非製造業の設備投資が全体をけん引する構図となっている。

設備投資の対前年度比の推移（製造業）



設備投資の対前年度比の推移（非製造業）



注) 平成22年度は計画

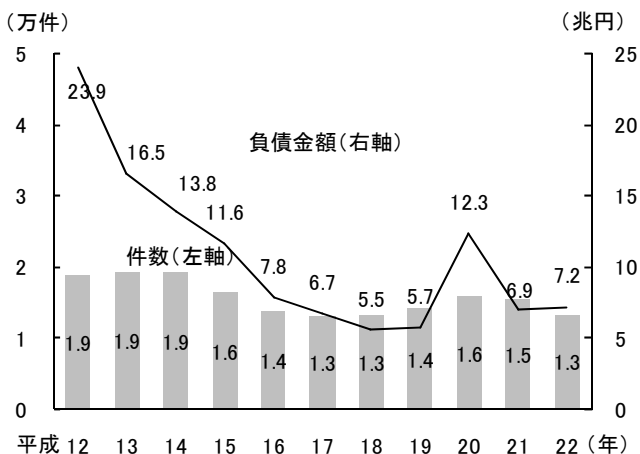
資料) 日本政策投資銀行「地域別設備投資計画調査」(平成22年6月)

## 5. 企業倒産

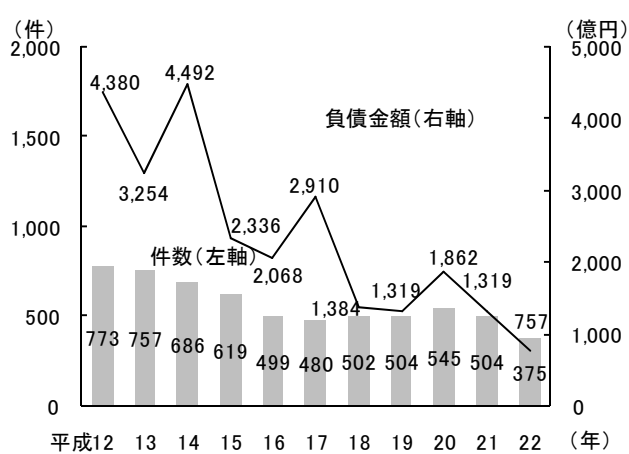
### 倒産件数、負債金額とも前年から減少

平成22年の福岡県の企業倒産は、件数375件、負債金額757億円となり、件数、負債額とも前年から減少している。

企業倒産の推移（全国）



企業倒産の推移（福岡県）



資料) 東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

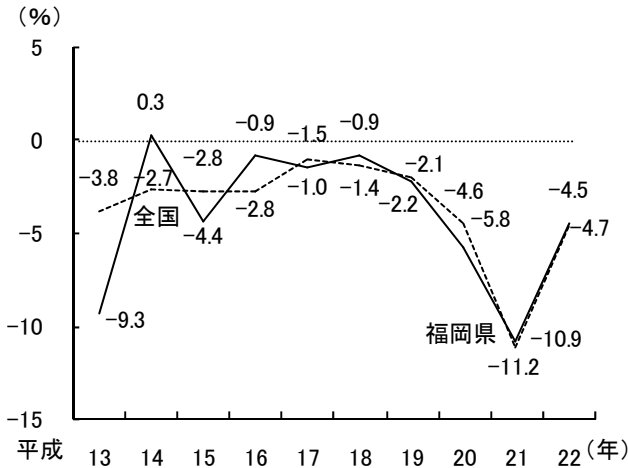
〈家計部門〉

6. 個人消費

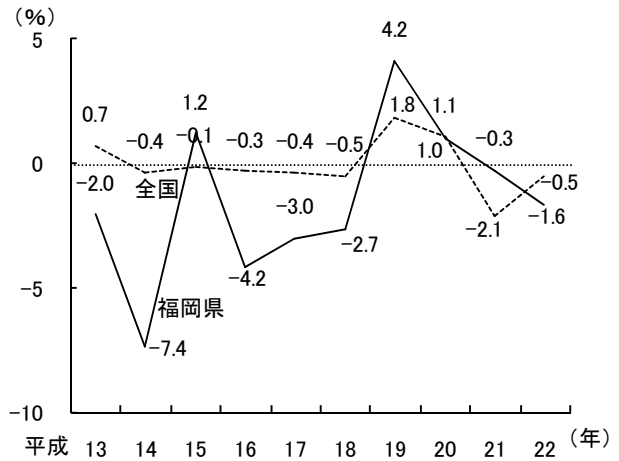
百貨店、スーパー販売額とも前年比マイナス

平成 22 年の福岡県の百貨店販売額は前年比マイナス 4.5%、スーパー販売額は前年比マイナス 1.6%となっている。

百貨店販売額の前年比の推移



スーパー販売額の前年比の推移

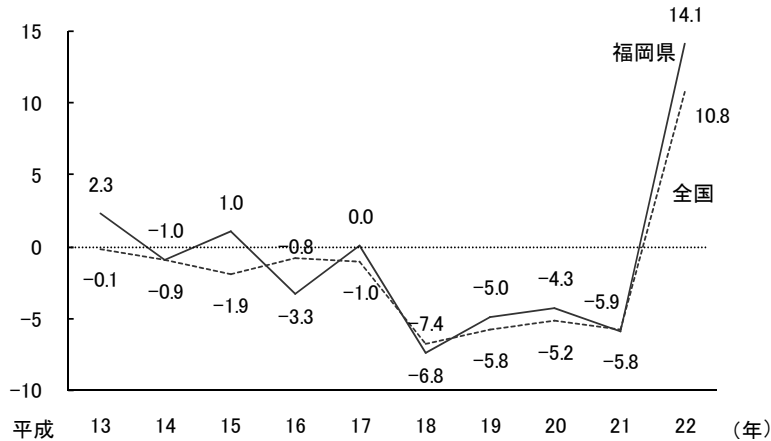


資料) 経済産業省「商業販売統計」

エコカー購入補助金制度により大幅に増加した新車登録台数

平成 22 年の福岡県の新車登録台数は、エコカー購入補助金制度により前年比プラス 14.1%と 5 年ぶりに増加した。

新車登録台数の前年比の推移



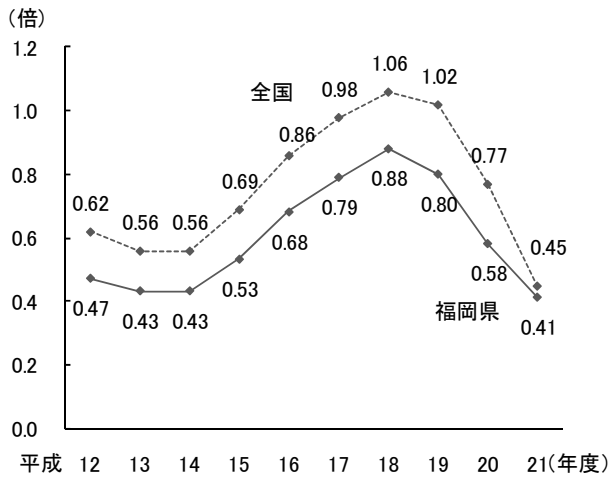
資料) 福岡県自動車販売店協会調べ

## 7. 雇用

### 厳しさを増す雇用環境

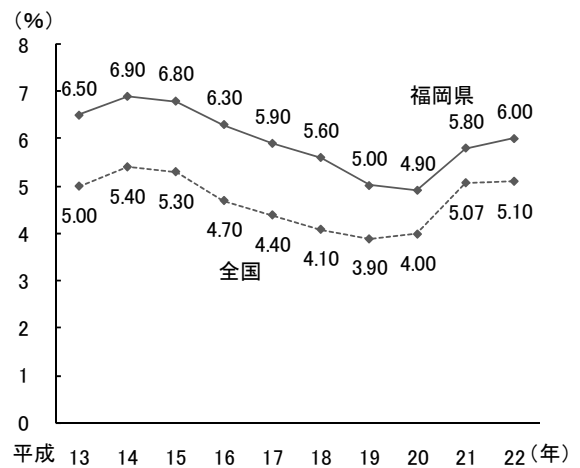
平成 21 年度の福岡県の有効求人倍率は 0.41 倍、また平成 22 年の福岡県の失業率は 6.00% となっている。

有効求人倍率の推移



資料) 福岡県「職業安定業務年報」

失業率の推移



注) 福岡県は 9 月までの平均  
資料) 総務省「労働力調査」

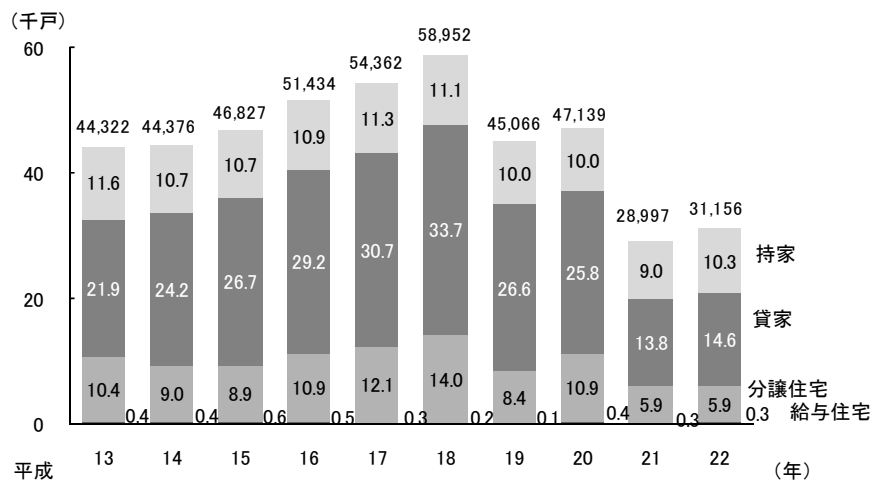
## 〈その他関係指標〉

## 8. 住宅建設

### 着工件数は前年から増加

平成 22 年の福岡県の住宅着工戸数は約 3 万 1 千戸となり、前年より増加した。

住宅着工戸数の推移



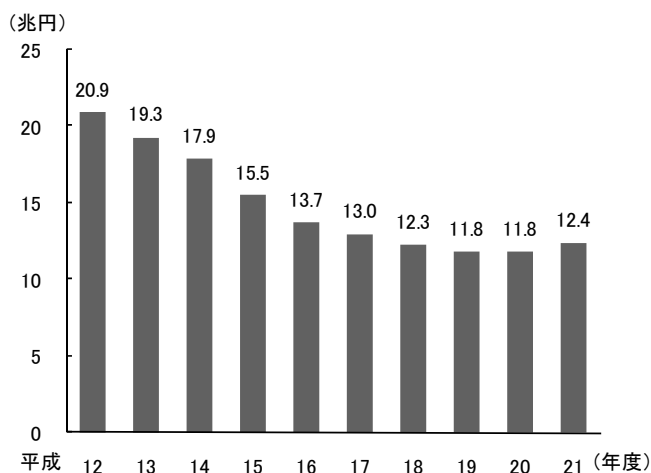
資料) 国土交通省「建築着工統計調査」

## 9. 公共投資

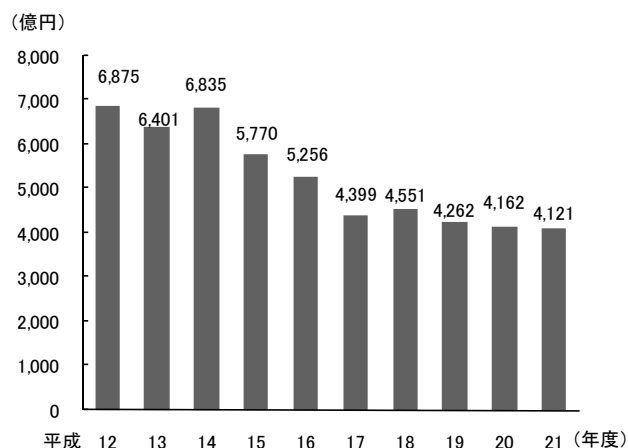
### 減少傾向にある公共投資

平成 21 年度の福岡県の公共工事請負金額は 4,121 億円となり、3 年連続の減少となった。一方、全国は 12.4 兆円となり、増加に転じている。

公共工事請負金額の推移（全国）



公共工事請負金額の推移（福岡県）



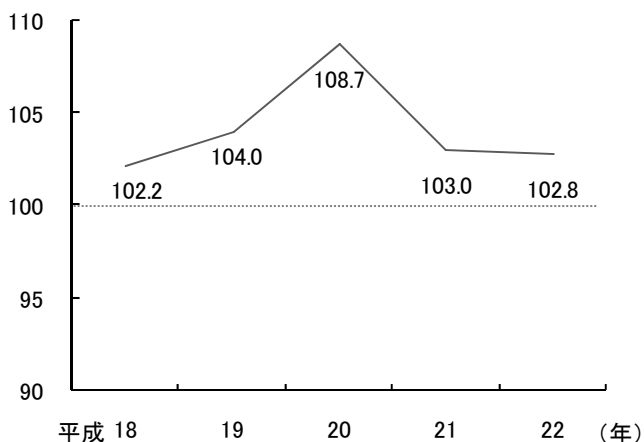
資料) 西日本建設業保証調べ

## 10. 物価

### 企業物価はほぼ横ばい、消費者物価は低下

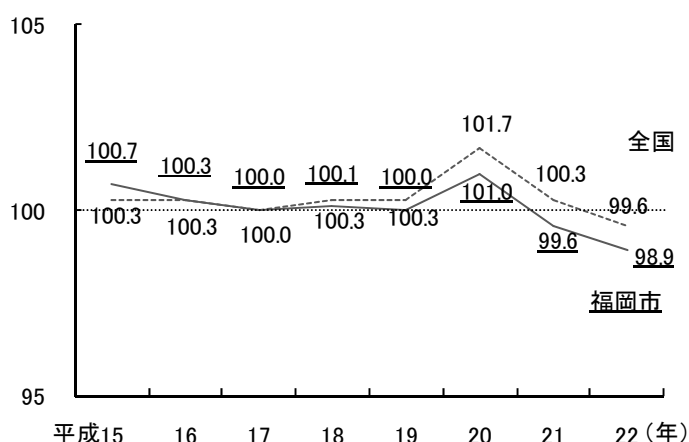
全国の企業物価指数は、平成 22 年は 102.8 と 2 年連続で前年より低下した。消費者物価指数は、平成 22 年は全国で 99.6、福岡市は 98.9 と前年より低下し、デフレ傾向が顕著になっている。

国内企業物価指数の推移



注) 平成 17 年を 100 とする  
資料) 日本銀行「企業物価指数」

消費者物価指数の推移



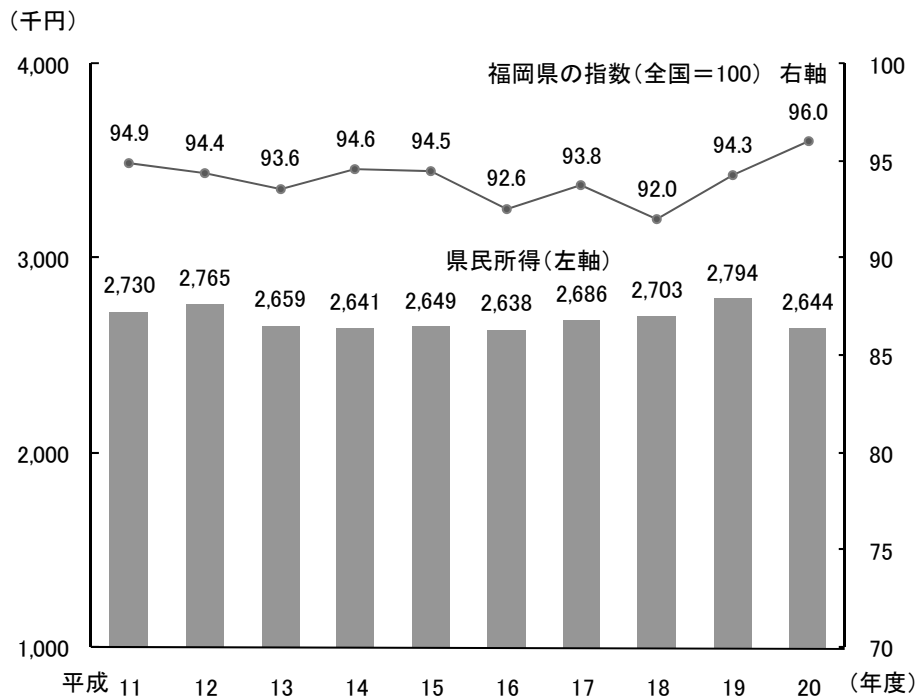
注) 平成 17 年を 100 とする  
資料) 総務省「消費者物価指数」

# 11. 県民所得

## 県民所得は4年ぶりに前年比マイナス

平成 20 年度の福岡県の 1 人当り県民所得は 264.4 万円、前年度に比べ 15.0 万円減少し、4 年ぶりに前年度を下回った。

1 人当たり県民所得の推移



資料) 福岡県「県民経済計算」